年度 2007　学期 前期	曜日･校時　火 3	必修選択 必修	単位数　2
授業科目/(英語名)	情報処理入門 Introduction to Computer Sciences		
対象年次　1年次	講義形態 講義･演習	教室 情報ﾒﾃﾞｨｱ基盤センター第二端末室	
対象学生(ｸﾗｽ等)　薬学P19		科目分類 情報処理科目	

担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー
担当教員: 伊藤 潔 /Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ:k-ito@nagasaki-u.ac.jp /研究室: 薬品生物工学
/オフィスアワー: 火曜日 午後3時～5時

担当教員(オムニバス科目等)

授業のねらい/授業方法（学習指導法）/授業到達目標

授業のねらい: インターネットを中心とした情報化社会において、情報活用･発信能力は必要不可欠である。情報機器の仕組み、代表的なOS(Windows)を理解し、インターネット(Web, Eメール)およびソフトウェア(Word, Excel, PowerPoint)を十分に活用できるスキルの養成をねらいとする。さらに、ネットワークを利用する際のモラルやセキュリティへの理解を深める。

授業方法: 授業計画に沿ったプリント資料を配布し、課題を中心とした演習形式で進めるが、PowerPoint を用いたプレゼンテーションやビデオなどを紹介し、理解を深める。また、ホームページを、各種連絡、課題提出、確認テスト、時間外の学習サポートに活用する。

授業到達目標:
- 情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できる。
- 情報資源･ネットワーク環境を活用して、主体的に情報を収集、分析、判断、創作および発信できる。
- ネットワークを利用する際のモラルやセキュリティを十分に理解し、ネットワークを活用できる。

授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)

授業内容(概要)

コンピュータなど各種情報機器の仕組み、、Windows について概説し、インターネット(Web, E メール)およびソフトウェア(Word, Excel, PowerPoint)の活用に関して、課題を中心とした演習を行う。さらに、情報機器や情報通信ネットワークの機能に関わる基本的知識やそれらの活用能力、情報モラル･セキュリティ等について、演習を取り入れた講義を行う。

第1回 情報処理概論(コンピュータで何ができるか？、情報化社会の現状、コンピュータの仕組みなど)
第2回 センター端末利用の基本操作(キーボード･マウス操作、エラー処理、日本語変換、USB フラッシュ)
第3回 Web による情報検索･活用、E メールの基本操作(送受信の仕組み、ファイル添付)
第4回 図書館ガイダンス(図書館の利用講習、各種データベース検索)
第5回 簡単なホームページ(HTML 形式文書)作成
第6回 レポート作成ガイダンス(情報検索のポイント、剽窃の注意、適切な引用方法)、Word 1(基本操作)
第7回 Word 2(文書編集、レポート体裁、図表などの組み込み)
第8回 PowerPoint 1(基本操作、基本的な画像処理)
第9回 PowerPoint 2(配付資料、プレゼンテーション)
第10回 Excel 1(基本操作、各種計算)
第11回 Excel 2(関数、グラフ作成)
第12回 Excel 3(データベース処理)
第13回 ネットワーク基礎(インターネットの仕組みなど)、情報モラル(アンケート意識調査、各種事例)
第14回 PC ウイルス･情報セキュリティ対策
第15回 定期試験

キーワード	コンピュータ、ソフトウエア（Word, Excel, PowerPoint)、情報セキュリティ・モラル
教科書･教材･参考書	教科書: 30 時間でマスター Office2003 (実教出版) 参考書: ホームページなどで随時紹介
成績評価の方法･基準等	○定期考査 30%、○レポート 50%、小テスト 10%、課題 10%。 情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できること、情報モラル･セキュリティを十分に理解し、ネットワークを活用できる点については、定期考査および小テストで評価する。 主体的に情報を収集、分析、判断、創作及び発信できるかは、レポートで評価する。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ/学習･教育目標	
備考(準備学習等)	